■令和7年度　政務活動費 議員別支出額一覧表(会派:政和クラブ　　議員名:　　小島　博彦)　　(単位:円)

支払番号	支払日	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	人件費	事務所費	事務費	会議費	支出合計
6-1	8月1日	24,620										24,620
6-2												0
6-3												0
6-4												0
6-5												0
6-6												0
6-7												0
6-8												0
6-9												0
6-10												0
6-11												0
6-12												0
6-13												0
6-14												0
6-15												0
	合計	24,620	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,620

支　払　伝　票

科目	■研究研修費 □調査旅費 □資料作成費 □資料購入費 □広報費 □広聴費 □人件費 □事務所費 □事務費 □会議費			
支払日	07年　8月 1日	金額	¥　24,620	
会派名	（会派のみ記入） 政和クラブ	購入者	小島　博彦	
経理 責任者	（会派のみ記入） 井戸田　直人	支払 番号	No. 6-1	
摘要	東海議員勉強会　夏期研修(1)令和7年8月4日 交通費　24,620円			

領収書添付欄

別紙のとおり

研修会日程表

研修期間	令和７年８月４日（月）
研修場所	参議院議員会館（東京都千代田区永田町 2-1-1）
研修内容	令和７年度　東海議員勉強会　夏季研修① ①　8／4　地方創生 2.0（内閣府）
研修参加者	小島　博彦

８月４日（月）

	各務原市役所前駅
08:30-09:25	｜　名鉄各務原線・犬山線
	名鉄名古屋駅
	｜　徒歩
	名古屋駅
09:49-11:24	｜　のぞみ 82 号（N700 系）
	東京駅
11:33-11:35	｜　JR 東海道本線
	有楽町駅
11:42-11:46	｜　東京メトロ有楽町線
	永田町駅
	｜　徒歩
13:30-16:30	参議院議員会館　夏季研修①
	｜　徒歩
	永田町駅
17:12-17:16	｜　東京メトロ有楽町線
	有楽町駅
17:23-17:25	｜　JR 東海道本線
	東京駅
17:39-19:16	｜　のぞみ 255 号（N700 系）
	名古屋駅
	｜　徒歩
	名鉄名古屋駅
19:40-20:45	｜　名鉄犬山線・各務原線
	各務原市役所前駅

様式第２号（第７条関係）

旅 費 （ 概 算 （精 算） ） 請 求 書

（宛先）政和クラブ　会長　仙石　浅善　　請求日　令和7年8月5日

旅行命令権者		政和クラブ　会長　仙石　浅善	請求者	所属（所属団体）	政和クラブ
専決者	所属	政和クラブ		職名（役職）	幹事長　　領収印
	職名	会長		氏名	小島　博彦
	氏名	仙石　浅善		住所又は居所	各務原市川島松倉町

旅行期間
令和７　年　8　月　4 日から
令和７　年　8　月　4 日まで　1　日間

用務
令和７年度　東海議員勉強会　夏季研修①

出発地
各務原市役所（各務原市那加桜町1-69）

用務地
・参議院議員会館
（東京都千代田区永田町2-1-1）

居住地発着の場合　（　直行　直帰　直行直帰　）

鉄道・船・航空・その他の交通費

区間			路線名	区分	運賃	距離	急行料金	座席指定料金等
各務原市役所前	－	名鉄名古屋	名鉄各務原線・犬山線	片 往	1,660 円	km	円	円
名古屋	－	東京	JR東海道新幹線（のぞみ）	片 往	12,,760 円	366.0 km	8,360 円	1,480 円
東京	－	有楽町	JR東海道本線	片 往		km	円	円
有楽町	－	永田町	東京メトロ有楽町線	片 往	360 円	km	円	円
	－			片 往	円	km	円	円
	－			片 往	円	km	円	円
	－			片 往	円	km	円	円
	－			片 往	円	km	円	円
	－			片 往	円	km	円	円

通勤手当の支給区間	宿泊地
—	

宿泊費		宿泊手当		包括宿泊費		転居費	着後滞在費				家族移転費		その他（　）
夜数	金額	夜数	定額 調整額	夜数	金額	金額	宿泊費 夜数	宿泊費 金額	宿泊手当 夜数	宿泊手当 定額	旅行人数	金額	金額
夜	円	夜	円	夜	円	円	夜	円	夜	円	人	円	円

概算額	精算額	追給額	返納額
24,620 円	24,620 円	— 円	— 円

（旅行役務提供者からの請求がある場合）
・旅行役務提供者の旅費請求額　　円
・旅行役務提供者の名称・所在地

摘要
・グリーン車は利用しない

研修記録

令和７年８月８日
会派名　政 和 ク ラ ブ
代表者　会長　仙石浅義

次のとおり研修を実施した。

記

１．会議名　　東海議員勉強会

２．期　日　　令和７年８月４日（月）

３．場　所　　参議院議員会館　第３会議室

４．参加者　　小島博彦

５．概　要　テーマ『地方創生２.０』
※内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局

（１）安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

（２）稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創出

（３）人や企業の地方分散、都市と地方の支え合い

（４）新時代のインフラ整備と AI・デジタルなどの新技術の徹底活用

【所感】
内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局より『地方創生2.0』をテーマに研修を受けた。
石破総理が地方創生担当大臣であった当時の『地方創生1.0』と、総理になってから掲げられた『地方創生2.0』について、1.0から2.0へと繋がる経緯、相違点、共通点を詳細に知ることで、2.0のあるべき姿を認識できた。
人口減少社会に加え、東京への一極集中が進む中で、地方自治体は「国から与えられたメニューをこなす」のではなく「今後進むべき自治体の姿を自ら描くことが必要」であることを学んだ。
最後に、自治体の取り組み事例を紹介いただき、本市にとって参考となる事例を学ぶことができた。
今回学んだことを活かし、地方創生をテーマにした政策提言につなげていきたい。